

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA HATSUKAICHI

広島廿日市ロータリークラブ 会報

2014年
11・12月号
No.393



◆◆ 本年度会長方針 ◆◆

「和と輪で響き合い、ロータリーで輝こう！」

例会日/毎週月曜日 12:30 ~ 13:30
例会場/広島サンプラザ TEL (082) 278-5000
会 長/青木 秀行 幹事/中井 克洋

事務局

〒738-0015 広島県廿日市市本町5番1号
廿日市市商工保健会館 4F
TEL (0829) 31-5490 FAX (0829) 31-5491
E-mail / office20@h-hrc.com
URL / http://www.h-hrc.com/

第 836 回 広島サンプラザ 2014年 11月 10日

会長時間

青木 秀行 会長



卓 話

ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2710地区
ガバナー 金子 克也 様



第 1 回クラブフォーラム

2014年 11月 10日 広島サンプラザ



第 837 回 広島サンプラザ 2014年 11月 17日

会長時間

国際ロータリー第2710地区
ガバナーノミネー
田原 榮一 様



卓 話

ロータリー財団月間に因んで

財団理事長 松本 猛 会員



在広 14RC 合同

懇親ゴルフ大会打ち合わせ

実行副委員長 上杉 昌幸 会員



第 838 回 広島サンプラザ 2014年 12月 1日

卓 話

創立 20 周年実行委員会

実行委員長 大藤 良治 会員



第 839 回 広島サンブラザ 2014 年 12 月 8 日

卓 話

年次総会

第 840 回 広島サンブラザ 2014 年 12 月 15 日

会長時間

米山特別寄付に表彰状



河内正晴会員

永井勝康会員

青木秀行会長

ロータリー財団月間に因んで

クラブ研修リーダー 森井 紀夫 会員

今月は「ロータリーの友」・「ガバナー月信」に掲載されているように、「家族月間」です。世界中のロータリー・クラブ・地区は、毎年 12 月の「家族月間」を祝うため、プロジェクト・活動・行事を通じて家族と地域社会への貢献を示すよう推奨されている。(ロータリー章典より)



そこで、2～3 例の家族に因んだ話をさせていただきます。

まず最初は、12 月 14 日、当クラブの家族である「ゆうほ RCC」の創立 10 周年記念事業があり、青木会長・山根 RCC 委員長計 9 名が代表して出席しました。

記念研修会では、「輝きながら生きる」と題して、RCC 地区大会の特別講演講師としてお招きした元校長、東佐和子先生の話聞き、その後、東先生を囲みでの祝賀会がありました。

ゆうほ RCC のメンバーは、仕事と家庭の調整を取りながら、寸劇・腹話術などで子どもも高齢者対象の防犯講習会・環境浄化活動等に取り組んでいます。当の祝賀会も調整の取れた 6 名の出席でした。

次に、12 月 10 日の当クラブ同好会「映画を観る会」は、韓国映画「レッド・ファミリー」を鑑賞しました。

家族を祖国に人質とされている北朝鮮の作員の祖父・父・母・娘役の 4 人が演じる完璧な一家の疑似家族と、祖母・父・母・息子の韓国家族が織りなす、普通の家族、普通の幸せとは何かを考えさせてくれる映画でした。

また 12 月 22 日は、家族月間に因んでのクリスマス家族例会があります。

来年 1 月には、当クラブのロータリーリーダーとして、「NPO 法人高次脳機能障害サポートネットひろしま」家族交流会への支援・行事の参加等があります。

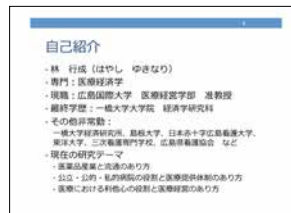
卓 話

これからの医療に対する視点

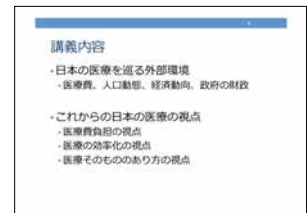
広島国際大学 准教授
林 行成 様



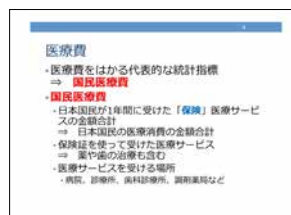
1



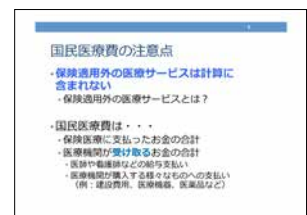
2



3



4



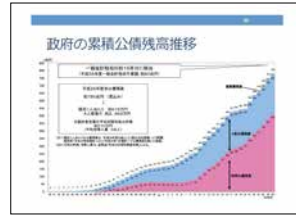
5



6



7



20

現代日本の医療の問題

- 日本の状況
- 少子高齢化の進展 + 低い経済成長 + 政府財政の悪化
- 日本の医療システム
- 高齢世代が高齢世代を支えるシステム
- 現状では疑問
- 課題その1
- 世代間で負担の公平性を確保
- 高齢者の負担をどうする?
- 世代という視点での負担では難しい

21

国民医療費

- 国民医療費は現在約33兆円
- 自動車産業: 約4兆円
- 国民所得比で約1.1%
- 国民所得 = 日本国民の1年間の収入合計
- 平均的に見て、1年間の収入のうち約1割を医療に支出している計算
- 医療費の増加要因
- 高齢化の進展
- 医療技術の進歩 など

8

国民医療費の財源構成

- 国民医療費 = 保険料 + 税金 + 自己負担
- 国民医療費の財源構成 (H22)
- 公費 (税金): 14兆2362億円 (33.1%)
- 保険料: 1兆81219億円 (48.5%)
- 自己負担: 4兆7573億円 (12.7%)
- 医療は、
- 保険料によって約半分を支えている
- 税金によって約4割を支えている

9

課題その2

- 医療費を抑制
- しかし質は落とさたくない
- ⇒ 医療の効率化
- 何が出来る?
- 1. 医療提供のより効果的なあり方を考える
- ⇒ 医療提供体制等のあり方
- 2. 医療のあり方そのものを考える
- ⇒ 医療保険の役割のあり方

22

日本の医療提供体制の現状と方向性

- 日本の医療の現状
- 少ない医師で多くの患者に長い時間で対応
- 一方で、医療は高度化・専門化が加速
- 医師の権限の範囲は従来通り広範囲
- 日本の医療の方向性
- 多様な意味での機能分化 (役割分担) と連携
- 医師と他の医療スタッフの機能分化と連携
- 医療体制の機能分化と連携

23

誰が医療を消費している?

国民医療費 (H22) を年齢別でみると...

年齢	総額	高齢割合	1人あたり医療費
65歳未満	17兆6030億円	19.0%	約4000円
65歳以上	15兆4176億円	46.8%	約4620円
65歳以上	19兆4488億円	58.6%	約5910円
65歳以上	20兆7211億円	62.4%	約6270円
65歳以上	21兆7100億円	66.4%	約6600円
65歳以上	22兆8600億円	70.2%	約6970円
65歳以上	23兆8800億円	73.2%	約7300円

65歳以上で医療費の55%を消費している
65歳以上の医療費は65歳未満の4倍以上

10

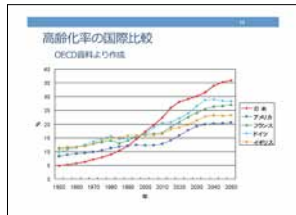
高齢化社会の進展

- 日本では少子高齢化が今後ますます進む
- 少子化 = 出生数の低下
- 高齢化 = 高齢者の増加
- 少子高齢化を見る指標
- 高齢化率: 65歳以上の人口割合
- 現在は約25%
- ⇒ 6人に1人が65歳以上
- 将来的には約40%まで上昇すると予測

11



12



13

第 841 回 三瀧荘 2014年 12月 22日

クリスマス家族同伴夜間例会

医療費は誰が負担する?

- 医療費は誰が支払うのか?
- 患者は窓口で一部負担
- ⇒ 窓口負担、後期高齢者は3割負担
- 残りの負担
- ⇒ 国民全員が負担する
- 負担の方法
- ⇒ 保険料と税金 (所得税や消費税)
- ⇒ 保険料と税金は労働者が主に負担
- ⇒ 高齢者の医療費は現役世代が主に負担する
- ⇒ 医療は「賦課方式」によって運営

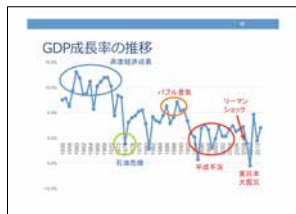
14



15



16



17



H26 一般会計予算 (歳入)

- 一般会計 歳入総額: 95兆8823億円
- 租税および印紙収入: 50兆10億円 (52.1%)
- 所得税: 14兆7900億円 (15.4%)
- 法人税: 10兆180億円 (10.4%)
- 消費税: 15兆3390億円 (16%)
- 公債金収入: 4兆1兆2500億円 (43%)
- 公債依存度 = 43%
- 収入の約4割が借金による収入

18

H26 一般会計予算 (歳出)

- 一般会計 歳出総額: 95兆8823億円
- 社会保障給付費: 30兆5175億円 (31.8%)
- 公共事業関係費: 5兆9656億円 (6.2%)
- 文教及び科学技術費: 5兆4421億円 (5.7%)
- 地方交付税交付金等: 16兆1424億円 (16.8%)
- 国債費: 23兆2702億円 (24.3%)
- 借金の返済が歳出全体の4分の1

19



活動報告

第1回 先輩を囲む会 2014年11月14日 勇魚 (いさな)



インフォーマル・ミーティング 2014年11月14日 串揚拋 十二ヶ月



今後の奉仕活動予定

- ◆ 2015年2月
御手洗川清掃